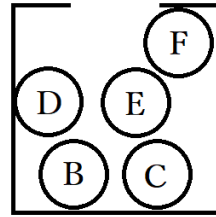
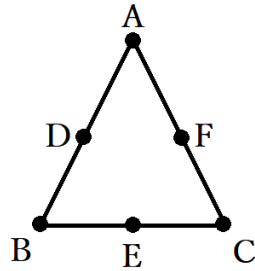


【026】図のように、正三角形ABCがあり、辺AB、BC、CAの中点をそれぞれ点D、E、Fとする。また、箱の中にはB、C、D、E、Fの文字が1つずつ書かれた5個のボールが入っている。箱の中から2個のボールを取り出し、それらのボールと同じ文字の点と頂点Aの3点を結んでできる図形が三角形にならない確率はいくらか。

- 1  $\frac{1}{3}$
- 2  $\frac{2}{3}$
- 3  $\frac{1}{5}$
- 4  $\frac{4}{5}$
- 5  $\frac{9}{10}$



【027】1から6までの目の出る大小1つずつのさいころを同時に1回投げる。大きいさいころの出た目の数を十の位の数とし、小さいさいころの出た目の数を一の位の数として2けたの数をつくる。この2けたの数が8の倍数になる確率を求めなさい。

- 1  $\frac{1}{3}$
- 2  $\frac{1}{6}$
- 3  $\frac{2}{9}$
- 4  $\frac{5}{36}$
- 5  $\frac{7}{36}$

【028】裏表のあるコインを6回投げたとき、表が2回出る確率はいくらか。

- 1  $\frac{1}{64}$
- 2  $\frac{15}{64}$
- 3  $\frac{1}{32}$
- 4  $\frac{5}{32}$
- 5  $\frac{1}{16}$

$$\text{【026】 } 3 \frac{1}{5}$$

三角形にならないのは B と D、C と F の組み合わせを引いたときのみ。

選び方のパターンは  ${}_5C_2 = 10$  通り

$$\text{【027】 } 4 \frac{5}{36}$$

目の出方は  $6 \times 6 = 36$  通り

8 の倍数になるのは 16 24 32 56 64 の 5 通り

$$\text{【028】 } 2 \frac{15}{64}$$

まず、6 回投げるので  $= \left(\frac{1}{2}\right)^6 = \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{64}$

そして、6 回中 2 回表が出るので  ${}_6C_2 = 15$

$\frac{15}{64}$  となる。